

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

バス交通ネットワーク再生計画の策定に当たって、県民の日常生活における移動の状況やバス交通に対するニーズ等を把握し、地域の拠点の選定や地域の拠点間を結ぶバス路線の経路・便数、利用促進策等について検討するため、バス利用に関する実態や意識を把握するため、居住者やバス利用者を対象に、アンケート調査を行った

### (2) 調査の概要

調査種別	バス利用者アンケート	住民アンケート
アンケート項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスの利用状況</li> <li>バス利用の満足度</li> <li>幹線バス路線への希望</li> <li>乗り継ぎ拠点への希望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的別の交通手段、行き先</li> <li>バス利用の状況</li> <li>バスを利用しない理由</li> <li>高齢になった際の移動手段</li> <li>幹線バス路線への希望</li> <li>乗り継ぎ拠点への希望</li> <li>バス路線維持への協力意志</li> <li>リニア駅へのバスシステムの利用意向(甲府市のみ)</li> </ul>
調査方法	バス停での手渡し配付、郵送回収	自治会経由配付(一部郵送配布)、郵送回収
調査実施時期	平成28年1月28日(木)、29日(金)、2月1日(月)	平成28年1月～2月
調査対象	バス利用者	路線バスが運行している市町村
配付場所	甲府駅、富士山駅、河口湖駅 他	配付自治体: 甲府市、富士吉田市、山梨市 他
配付数	214票	11,960世帯、35,880票(世帯×3)
回収数(率)	95票(44.4%)	2,653世帯(22.2%)、4,952票(13.8%)

## 2 調査結果の概要

### (1) バス利用者アンケート

- ①バス利用頻度 「ほぼ毎日」47.8% 「1週間に1～2日」22.8% 「月に1～2日」19.6%
- ②利用目的 「通勤」37.0% 「通院」23.9% 「通学」15.2% 「買い物」7.6%
- ③バス利用の満足度
  - 不満の割合が高い項目 「終発バスの時間」30.2% 「運行間隔、頻度」19.8% 「料金」16.5%
  - 満足の割合が高い項目 「始発バスの時間」25.8% 「運転手」23.9% 「バス停」20.2%
- ④路線バスに望むこと(2項目まで回答)
  - 「利用しやすいバス時刻の設定」56.7%
  - 「利用者の目的地にあわせた路線の新設や見直し」54.4%
  - 「より安い運賃の設定」27.6%
- ⑤乗り継ぎ拠点に望むこと(2項目まで回答)
  - 「バス停へのベンチや屋根の設置」65.1%
  - 「バス停での運行情報(バスの到着時刻や接近状況)の提供」54.2%

### (2) 住民アンケート

- ①市町村を超えた移動もしくは5km以上の場所への定期的な移動の有無
  - 「出かける」69.5% 「出かけない」30.5%
- ②移動の目的(通勤・通学・買い物・通院)
  - 買い物56.0% 通勤45.3% 通院34.1% 通学4.1%
- ③移動の目的別(通勤・通学・買い物・通院)の路線バスの利用
  - 通学22.0% 通院9.3% 買い物5.7% 通勤5.0%
  - ※ いずれの移動目的でも自動車(運転)での移動が最も多い。
- ④バスの利用状況
  - 「利用したことが無い」75.5%
  - 「たまに利用する」21.3%
  - 「よく利用する」3.2%
- ⑤バスを利用しない理由(複数回答)
  - 「バスの乗り方(料金支払い方法)が分からない」64.9%
  - 「目的地に行くバス路線があるかわからない」61.3%
  - 「自分の行きたい所にバス路線がない」18.6%
- ⑥高齢になった際の自家用車運転への不安
  - 「多少不安はある」51.0%
  - 「大いに不安がある」25.7%
  - 「全く不安はない」12.6%
- ⑦高齢になった際の車以外の移動手段(複数回答)
  - 「家族の送迎」61.8%
  - 「バス」60.8%
  - 「鉄道」21.3%
- ⑧路線バスに望むこと(2項目まで回答)
  - 「利用しやすいバス時刻」44.4%
  - 「目的地に合わせた路線の新設、見直し」36.8%
  - 「安い運賃」33.3%
- ⑨バス路線廃止の影響
  - 「大きな影響が生じる」28.3%
  - 「少し影響が生じる」34.5%
  - 「影響は限定的・影響はない」37.1%